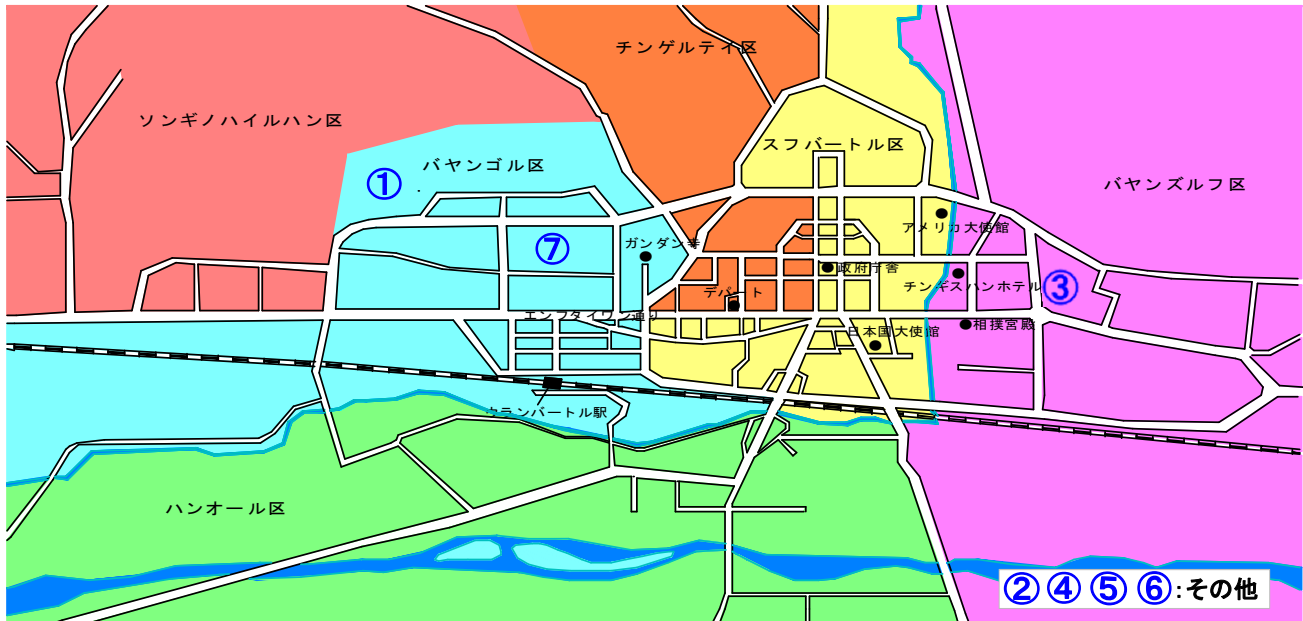


UB CITY 安全情報 (2019年5月号)

2019年4月中のウランバートル市内における邦人被害状況及び当地新聞に掲載された主な事件・事故を地図上に表しています。



※邦人被害状況 (大使館調べ)

事件発生日時	事件発生場所	状況
		把握なし

※当国新聞掲載事件・事故

掲載日 (任国新聞)	場所	被害者 (性別・年齢等)	犯人 (性別・年齢等)	
① 4月11日 木	バヤンゴル区 被害者自宅前路上	13歳女性	30歳男性	強姦未遂事件: バヤンゴル区の被害者(13歳女性)自宅前路上で30歳男性が被害者を無理やり車に乗せ、強姦しようとする事件が発生した。警察は犯人を逮捕し、余罪の有無も含め、現在も捜査を進めている。
② 4月11日 木	ウランバートル市内	ノンバンク (詳細不明)	男性2人組 (26~28歳)	詐欺事件: 警察によると、26~28歳の男性2人組が車の資料を偽造し、車を担保にしてノンバンクから現金3,500万トログを騙し取る事件が発生した。
③ 4月12日 金	バヤンズルフ区第16ホロー 宿泊施設内		31歳男性	けん銃自殺: 9日、バヤンズルフ区第16ホローの宿泊施設において、31歳男性がけん銃で自殺する事件が発生した。けん銃の入手経路等について、警察が捜査を進めている。
④ 4月25日 木	ウランバートル市からセレンゲ県 スフバートル市までの間	61歳男性	詳細不明	中年男性の行方不明事案: バヤンゴル区在住の61歳男性が、ウランバートル市からセレンゲ県スフバートル市行きの列車に乗車したのを最後に行方が分らなくなっている。現在、非常事態庁が捜索を続けている。
⑤ 4月26日 金	モンゴル国内 詳細不明		モンゴル人 薬物犯罪グループ	覚せい剤の持ち込み・販売: 警察は、中国から覚せい剤をモンゴルに持ち込んで販売した容疑で、モンゴル人の薬物犯罪グループを検挙したと発表した。警察の捜査により、同グループ構成員のモンゴル人Aが、オルホン県で覚せい剤を販売していたことが判明している。
⑥ 4月26日 金	モンゴル国内 詳細不明		38歳男女 (トルコ人夫婦)	大麻の栽培: 警察庁薬物対策局は自宅で大麻を栽培していた38歳のトルコ人夫婦を逮捕した。警察の捜査により、同夫婦は2017年からモンゴルでの生活を開始した当初から、大麻を栽培していたことが判明している。
⑦ 4月29日 月	バヤンゴル区 路上		61歳男性	けん銃自殺: 26日、バヤンゴル区地内のバス停留所付近に死体があるとの通報を受け、警察が捜査を進めたところ、死者が猟銃で頭部を撃ち抜いて自殺したことが判明。自殺に至る経緯など、警察は現在も捜査を進めている。

	殺人	屋外強盗	屋内強盗	屋外窃盗	侵入窃盗	暴行・傷害	強姦	薬物犯罪	詐欺	誘拐/行方不明	その他	合計
スフバートル区												0
ソンギノハイルハン区												0
チンゲルテイ区												0
ハンオール区												0
バヤンゴル区							1				1	2
バヤンズルフ区											1	1
その他(不明等)								2	1	1		4
合計	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	2	7

【アドバイス】

・13歳女性が自宅前路上で強姦未遂の被害に遭う事件が発生しました。被害者は無理やり車に押し込まれそうになりました。自宅近くであっても、不審な車が駐車していないか確認するなど、決して油断はしないでください。暖かくなると、強姦、強盗及び窃盗(スリ)などの街頭犯罪が増加する傾向にありますので、この時期は特にご注意ください。

・市内で銃を使用した自殺が2件発生しました。モンゴルでもライセンスを取得すれば猟銃等を入手できますし、インターネットを介して外国製の銃器が売買されている実態があります。今回は自殺でしたが、日本と同様に、第三者に対するけん銃発砲事件等が発生する可能性もあります。「モンゴルも決して安全ではない」という安全意識を高める必要があると思われます。